

令和元年度学校関係者評価報告書

開催日時：令和2年8月21日(金)

開催方法：電子会議

参加者：委員長 城戸 秀美

副委員長 上山 悦代

委員 小袋 伸枝

委員 関 彩嘉

委員 片岡 彩

以上 5名

学校関係者評価結果(評価項目別委員意見)

I. 学校経営

- ・前年度評価を生かして組織目標を作成しており、その目標が教職員に周知されている。
- ・定期的に教職員会議を行い、全教職員が情報を共有できている。

II. 教育課程・教育活動

- ・ICT教育の導入は、看護の世界でも必要であるため、学校全体として取り組んでいくべきである。
- ・カリキュラム改正に向けた教育課程の点検・整備ができている。
- ・授業評価アンケートの結果を受け、授業内容や指導方法の工夫や改善を行う必要がある。
- ・公開授業を行う環境づくりに取り組む必要がある。

III. 入学・卒業対策

- ・学校説明会、オープンキャンパスを行い、より多くの受験者・出願者を確保することに努めている。また、斬新なアイデアを取り入れ募集活動を充実させるべきである。
- ・国家試験合格率100%を達成するために、教職員が一丸となって指導を行い、目標となる看護師になりたいという意志を高めていく努力をすること。

IV. 学生生活への支援

- ・就職に関して、個別で面接・書類の指導を行っている
- ・健康診断後の指導、相談は保健係とクラス担任が連携して行う必要がある。
- ・サークル活動を行う体制ができていない。

V. 管理運営・財政

- ・防災訓練を年1回実施している。
- ・計画的に設備備品の充実を行えている。

VI. 施設設備

- ・PC、Wi-Fi環境の整備は必須である。早急に対応すべきである。
- ・図書室は、定期的に蔵書点検や整理ができているが、司書を配置して管理していくことが望ましいので検討する。

VII. 教職員の育成

- ・公開授業を行って、教員同士で評価してくことも必要である。
- ・積極的に研修に参加しており、またその伝達講習もできている。
- ・研究活動ができる環境づくりをしていく必要がある。

VIII. 広報・地域活動

- ・ホームページの更新を定期的に行った方がよい。学生の声をなるべく載せていく。
- ・SNS の活用も検討していくとよい。
- ・地域清掃ボランティアの活動ができた。